

平成29年度 茅ヶ崎北陵高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行防止	個人としての生活時間帯における不祥事や県民の不信を招く行為等の原因について教職員一人ひとりが自覚するとともに認識を深め、教育公務員として「法令遵守」意識を高めることにより非行を未然に防止する。	職員が講師となる不祥事防止研修会のほか、管理職による職員啓発資料を活用した研修を職員会議等の機会に行い、教育公務員としての自覚を喚起することができた。
セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	7月に職員啓発資料を活用した研修を管理職が実施した。10月に「セクハラ、わいせつ行為の防止」についての研修会を生活支援グループが実施した。職員一人ひとりが自らの言動を見直すことができた。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導の発生を未然に防止する。	8月に「生徒の人権に配慮した指導」をテーマに外部人材を活用して参加型研修会を研究開発グループが実施した。 10月に「体罰、不適切な指導の防止」についての研修会を活動支援グループが実施した。人権に配慮した指導について職員が主体的に考えることができた。
入学者選抜における事故防止	入学者選抜の確実性及び信頼性を高めるため、採点及び点検業務について検討を行うとともに、現行の採点及び点検業務について検証し、確実に入学者選抜を実施するための方策を定める。	12月に職員啓発資料を活用した研修を管理職が実施した。1月及び2月に、面接研修会及び採点研修会を入選委員会が各2回実施した。採点の誤りを防止し、適切に入学者選抜が実施できた。
成績処理に係る事故防止	成績処理マニュアルに基づき、教務手帳への転記、成績処理支援システムへの入力・確認の複数によるチェック体制を確立し、ミスを未然に防止する。	6月に「成績処理支援システム」についての研修会を教務グループが実施した。7月に職員啓発資料を活用した研修を管理職が実施した。成績処理の手順については、いつ、誰が、何をするのかを明確にしたマニュアルを教務グループが作成し、成績処理期間の前に配付した。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づき、複数によるチェック体制を確立し、ミスを未然に防止する。	7月に「調査書発行に係る事故防止」についての研修会を進路支援グループが実施した。同じく7月に職員啓発資料を活用した研修を管理職が実施した。進路支援グループと3学年が連携し、複数による確実な点検を行った。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の漏えい及び紛失を未然に防止する。	6月に「個人情報管理」についての研修会を総務管理グループが実施した。9月に職員啓発資料を活用した研修を管理職が実施した。個人情報を校外に持ち出す際は必ず許可を得ることや、管理は鍵のかかる場所で行うことなどの周知・徹底を図った。
交通事故防止 酒酔い、酒気帯び 運転防止	交通事故の発生を未然に防止する。 酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	12月に「交通事故防止」「酒酔い、酒気帯び運転禁止」についての研修会を企画会議が実施した。同じく12月に職員啓発資料を活用した研修を管理職が実施した。酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止できた。
適正な経理処理 (私費会計処理)	私費会計に関する不祥事の発生を未然に防止する。	4月に職員啓発資料を活用した研修を管理職が実施した。9月に「適正な経理処理」についての研修会を総務管理グループが実施した。私費会計の適正な執行について確認できた。
政治的中立性の厳守	政治的中立性を確保する。	4月に選挙に向けた留意事項に係る通知を周知した。政治的中立性の保持に努めることができた。
定期テストについての事故防止	定期テスト問題作成、点検、実施及び回収、実施後の受渡し等チェック体制を確立し、試験実施に係る事故を未然に防止する。	5月に「定期試験に係る事故防止」についての研修会を教務グループが実施した。所定の手続きに従った実施ができた。
保護者対応に係る事故防止	社会環境の変化、家庭環境の複雑化等、学校を取り巻く環境が変動している中で保護者とのトラブルを未然に防止する。	職員間の情報交換等を行い、迅速・適切な対応を心がけた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題
(校長意見)

- ・行動計画については、概ね目標を達成することができた。
- ・平成30年度は、成績処理・進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止、個人情報の管理、情報セキュリティ対策、交通事故防止、会計事務等の適正執行及び入学者選抜に係る事故防止に引き続き取り組む。